

令和2(2020)年度 助産師学科 一般入学試験問題から一部抜粋

【小児看護学】

問12 中学1年生、12歳の男児、身長150cm、体重48kg。I型糖尿病と診断され教育目的で入院した。中学ではサッカー部に所属し、運動が大好きで友人も多い活発な少年である。

(1) この児の体格の評価として適切なものはどれか。

- ① 14.0 ② 21.3 ③ 140 ④ 213

(2) I型糖尿病の原因として関係が明らかにされていないものはどれか、1つ選びなさい。

- ① 感染症 ② 自己免疫機能の異常 ③ 膵臓のβ細胞に関わる遺伝子の異常
④ 親子関係や学校生活に関するストレス

(3) 病態や治療について誤っているものはどれか2つ選びなさい。

- ① 主な症状として多飲・多尿がある。
② インスリン作用不足によりタンパク質分解が促進され体重減少がおこる。
③ 血糖値の値に応じてインスリン注射と血糖降下薬の内服が必要となる。
④ 朝・昼・夕食前・食後と夜に血糖測定を行い、血糖値の変動に応じて薬剤の量を決める。
⑤ この児の場合、スポーツや長時間の外遊びは身体的負担が大きいため制限する。

(4) この児に対する看護として誤っているものはどれか2つ選びなさい。

- ① インスリン注射の手技は本人と母親に説明し、当面は母親が実施するように指導する。
② 食事は成長発達や活動に必要な栄養を摂取するように指導する。
③ 学校生活や部活動などは治療を続けることで、他の子どもと同じように過ごせることを本人に説明する。
④ 低血糖症状について説明し、症状がでたら安静にして症状が治まるのを待つように指導する。
⑤ 児がこれからの治療に意欲的に取り組んでいけるために、児の気持ちや不安を受け止め、心理的なサポートが必要になることを母親に説明する。

問16 感染症について誤っているものはどれか2つ選びなさい。

- ① ノロウイルスは汚染者が調理した食品や吐物などから経口二次感染する。突発的に嘔吐や下痢をするが症状は1～2日で軽快する。
② ムンプスウイルスは、飛沫感染する。耳痛・発熱・食欲不振などの症状発症後1～2日で耳下腺が腫脹する。
③ 伝染性紅斑は頭痛や上気道症状を前駆症状とし、その後、前胸部に蝶形紅斑が現れる。
④ 帯状疱疹は、水痘-帯状疱疹ウイルスの回帰発症によるものである。
⑤ 潰瘍性大腸炎は汚染された水や食品から経口感染する。下痢を主症状とする。